

個人質問通告表

令和7年第1回始良市議会定例会（3月7日）

13. 有川 洋美	1. 原発について	<p>鹿児島県の九州電力川内原子力発電所(以下、川内原発)は、1984年1号機営業運転開始、1985年2号機営業運転開始した。2011年、東日本大震災後の定期点検後、1号機・2号機ともに発電再開を延期したが、2015年に再稼働し、現在、川内原発は「原則40年」の運転期限をこえ運転されている。</p> <p>佐賀県の九州電力玄海原子力発電所1号機、2号機は40年を迎える前に運転を終えた。</p> <p>そして、東京電力福島第一原発事故から14年になろうとしている。しかし、溶け落ちた核燃料である燃料デブリの取り出しは始まったばかりであり、先は見えない。</p> <p>本市は、原発立地自治体に隣接している。そこで原発を含むエネルギー政策についての考え方を問う。</p>	市長
	2. 原子力防災訓練について	<p>2月14日、15日、16日の3日間にわたって鹿児島県原子力防災訓練が実施された。</p> <p>そこで以下について問う。</p> <p>(1) 原子力防災訓練が行われることの庁内情報共有（議会を含めて）について問う。</p> <p>(2) 市民への周知はなされたのか。</p> <p>(3) 今回の原子力防災訓練の詳細を問う。</p> <p>(4) 本市における原子力防災に関する課題を問う。</p> <p>(5) 原子力防災における訓練以外の施策を問う。</p>	市長
	3. 医療的ケア児等在宅支援事業について	<p>市長の令和7年度施政方針にて、「医療的ケア児等在宅支援事業」への取組が表明された。</p> <p>具体的に事業内容を説明せよ。</p>	市長

14. 堀 広子	<p>1. 訪問介護事業に支援を</p> <p>2. オーガニックの取組について</p> <p>3. 公共インフラの維持、復旧などの管理について</p>	<p>政府は2024年度の介護報酬改定で、訪問介護事業所に支払われる基本報酬の引き下げを行い、身体介護、生活介護の基本報酬が2～3%減額した。その影響で、全国の介護事業所の休廃止が急増し、訪問介護事業者の倒産件数が過去最高となり、深刻な実態である。介護は歳を重ねたり、病気になった時、在宅で生活していくための要である。</p> <p>地域の訪問介護事業所を守るため、介護保険給付準備基金を活用し、次期介護報酬改定まで支援することはできないか。</p> <p>農林水産省が「みどりの食料システム戦略」を打ち出し、2050年まで有機農業の取組面積を約1万ヘクタールから約100万ヘクタールに拡大することを目標とした。</p> <p>本市は、令和7年度施政方針で、本年2月7日「オーガニックビレッジ宣言」をしたとの報告がされた。</p> <p>(1) オーガニック宣言の事業内容と今後の取組を示せ。</p> <p>(2) オーガニックビレッジ実施の全国の市町村数と本県の市町村名を示せ。</p> <p>(3) オーガニックビレッジの取組の効果と課題を示せ。</p> <p>(1) 埼玉県八潮市の公共下水道管が原因となる道路陥没事故は国民に大きな影響を与えた。この事故をどのようにとらえて、今後どう活かしていく考えか問う。</p> <p>(2) 下水道や水道事業は独立採算制で運営され、地域間の格差や都市形態によって大きな隔たりがある。</p> <p>国の支援が欠かせないはずだが、そのようになっていないことに大きな問題がある。どのように考えるか問う。</p> <p>(3) 公共インフラの老朽化が進み、今後の維持管理費が大変になってくる。今後の見通しを財政も含めて示し、市民に知らせるべきと</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>
----------	--	--	-------------------------------

		考えるかどうか。	
--	--	----------	--